

パーソナル・サポート・モデルプロジェクト事業の内容

事業内容	モデルプロジェクト実施要領案の「2事業内容」該当箇所
<p>1 パーソナル・サポーターによる相談機能 (1) 支援対象者の相談を総合的、包括的、継続的に実施。 (2) 相談機能を一部外部団体へ再委託し、相談機能のネット化と、外部団体の専門性を活用した支援対象者への研修（市民活動参加による社会復帰等）支援を行う。</p>	<p>2 (1) 支援対象者の生活及び就労に関する相談に該当</p>
<p>2 たまり場機能 支援対象者が就労や活動などの所属を確保できるまでの経過的な居場所として、自己回復、エンパワーメント、ステップアップ、情報交流ができ、かつ戻ってこれる場所（たまり場）を求職者総合支援センター内に設け、支援を行う。</p>	<p>2 (1) 支援対象者の生活及び就労に関する相談に該当</p>
<p>3 支援対象者の出口づくり(就労訓練等)機能 (1) 就労訓練を支援対象者と企業に対して実施する。 (2) 企業や団体の中にコンサルティングサポートを行える人材を養成する。</p>	<p>2 (3) その他支援対象者の就労の実現を図るために必要な支援に該当</p>
<p>4 就労開拓・支援事業 外部コンサルと協力して、企業が就労に福祉的発想（障がい者だけでなく、誰でもが働きやすい職場づくりなど）を取り入れることを啓蒙することにより、企業側の求人意欲を高めるとともに、ハローワークの職業紹介と連携し、支援対象者の就労を支援する。</p>	<p>2 (3) その他支援対象者の就労の実現を図るために必要な支援に該当</p>
<p>5 運営委員会開催 本事業を円滑かつ効果的に実施するため、有識者、地域の関係機関による運営委員会を開催する。</p>	<p>2 (2) 各種支援制度の利用に関する連絡・調整等に該当</p>

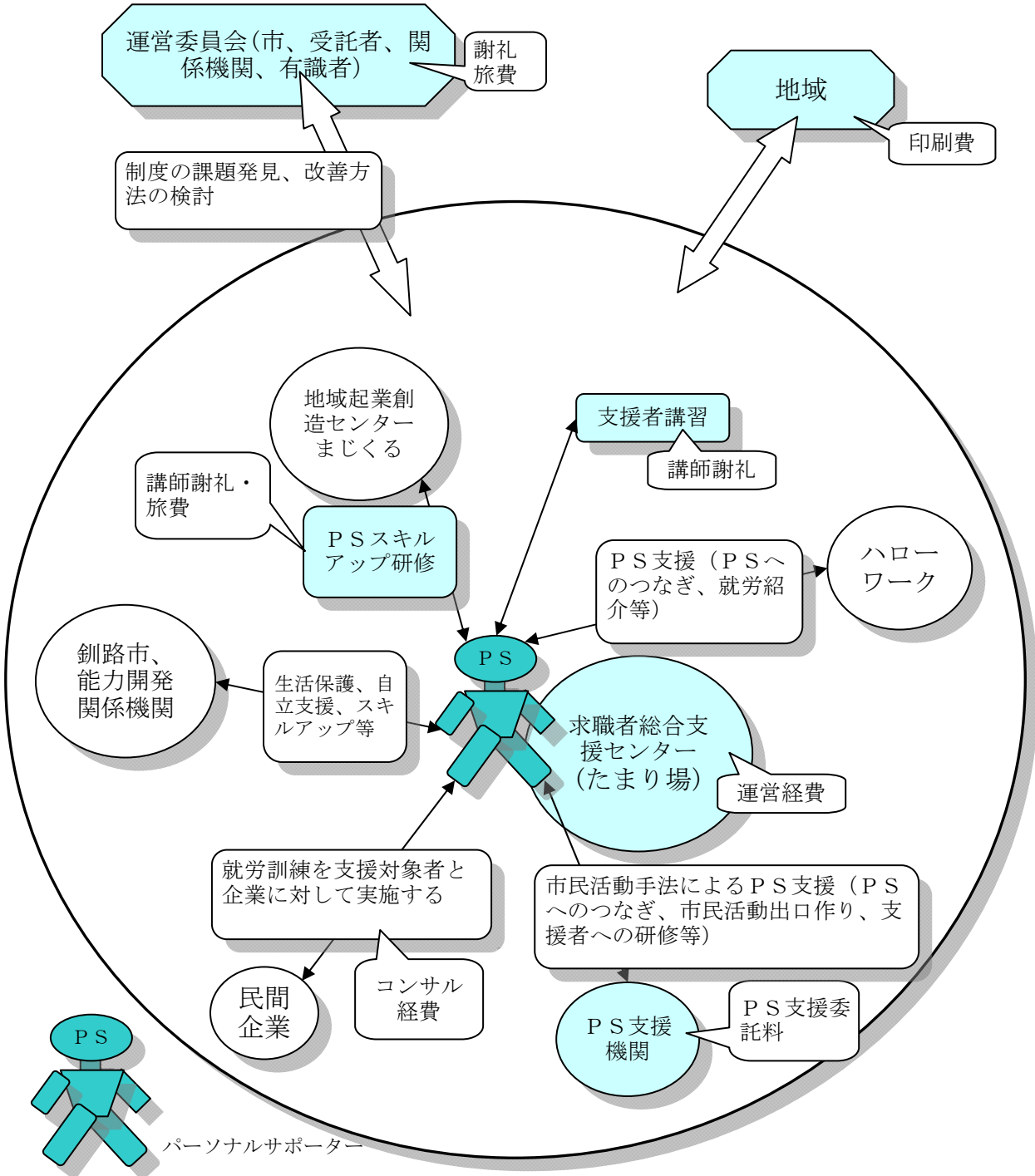
運営主体担当者

NPO法人地域生活支援ネットワークサロン
 地域起業創造センターまじくる 担当者 高橋信也
 E-mail togetuso@n-salon.org
 （可能な限りメールで事前連絡を願います）
 釧路市柏木町2-8 電話(0154)42-2420

市役所担当者

釧路市役所経済部商業労政課課長 高木亨（代表）0154-23-5151

釧路市パーソナルサポートサービス事業 俯瞰図



○パーソナル・サポート・サービスモデル事業必要経費

人件費計						13,006,500					
新規採用 (医療福祉 関係)	給与	332,000 円	×	5 人	×	6 ヶ月	=	9,960,000			
	交通費	15,000 円	×	5 人	×	6 ヶ月	=	450,000			
	小計							10,410,000			
	共済費	10,410,000 円	×	0.15			=	1,561,500			
	新規計							11,971,500			
既存社員	給与	210,000 円	×	2 人	×	6 ヶ月	÷ 3	=	840,000		
	交通費	15,000 円	×	2 人	×	6 ヶ月	÷ 3	=	60,000		
	小計							900,000			
	共済費	900,000 円	×	0.15			=	135,000			
	既存計							1,035,000			
物件費計						15,340,438					
センター (たまり 場) 運営費	消耗品費	コピー用紙、事務用品	20,000 円	×	1 式	×	6 ヶ月	=	120,000		
		ガソリン代	129 円	×	100 km	÷	10 燃費	= 1290円			
			1,290 円	×	2 台	×	20 日	×	6 ヶ月	=	309,600
		たまり場初度消耗品	50,000 円	×	1 式			=	50,000		
		たまり場用書籍、自立支援用品	30,000 円	×	1 式	×	6 ヶ月	=	180,000		
	印刷費	事業PRパンフ	200 円	×	1000 部	×	1 回	=	200,000		
		事業PRポスター	1,000 円	×	50 部	×	1 回	=	50,000		
		定期通信発行	200 円	×	300 部	×	3 回	=	180,000		
		ハローワーク・トータル・スキルアップ講習、講師謝金	10,000 円	×	2 回	×	6 ヶ月	=	120,000		
		上記講師旅費 東京～釧路1泊2日	93,320 円	×	2 回	×	6 ヶ月	=	1,119,840		
		ハローワーク・トータル・スキルアップ研修旅費 釧路～東京3泊4日	122,720 円	×	1 回	×	5 人	=	613,600		
		光熱水費 センター光熱水費	40,000 円	×	1 式	×	6 ヶ月	=	240,000		
	使用料	事務所賃借料	150,000 円	×	1 軒	×	6 ヶ月	=	900,000		
		車両リース代	43,000 円	×	2 台	×	6 ヶ月	=	516,000		
		パソコンレンタル代	11,200 円	×	5 台	×	6 ヶ月	=	336,000		
		複合機リース代	18,900 円	×	1 台	×	6 ヶ月	=	113,400		
		事務家具借上	238,413 円			×	6 ヶ月	=	1,430,478		
	役務費	電話、携帯電話、インターネット使用料	50,000 円	×	1 式	×	6 ヶ月	=	300,000		
	委託料	HP作成、更新業務	50,000 円	×	1 式	×	6 ヶ月	=	300,000		
		ハローワーク・トータル・支援委託料	40,000 円	×	5 箇所	×	6 ヶ月	=	1,200,000		
		小計							8,278,918		
	就労訓練 事業	受入企業謝金	3,000 円	×	20 日	×	50 回	=	3,000,000		
		職業訓練講習会講師謝金	3,500 円	×	6 時間	×	4 日	×	6 ヶ月	=	504,000
小計								3,504,000			
就労開拓・ 支援事業	コンサル謝金	20,000 円	×	6 回	×	6 ヶ月	=	720,000			
	コンサル旅費 札幌～釧路2泊3日	46,600 円	×	6 回	×	6 ヶ月	=	1,677,600			
	小計							2,397,600			
運営委員会 開催費	運営委員会委員謝金	20,000 円	×	6 回	×	5 人	=	600,000			
	運営委員会委員旅費 東京～釧路1泊2日	93,320 円	×	1 回	×	6 ヶ月	=	559,920			
	小計							1,159,920			
消費税	(13,006,500 円 + 15,340,438 円) × 0.05						=	1,417,347			
合計								29,764,285			

地域起業創造センター まじくる

- ① 釧路らしいユニバーサルで隙間のないセーフティネットを構築
- ② 新しい時代の専門性が地域とともに育ち合う
- ③ 全システムを地域の協働で創造・検証



社会的居場所（ニーズのたまり場）・・・→ 「地域」という所属へ

居場所拠点運営

地域起業創造センター
(就労支援)

相談部
(PS事業)

研修部
(社会雇用創造事業)

企画部
(フレキシブル支援センターモデル推進事業)

センター総合窓口

包括的な窓口連携

相談
機関

行政

入口

ワンストップ窓口
誰でもOK 断らない

PSによる相談支援

幅広い出口の創出
SB事業化～活動の場づくりまで
就労～能力開発～所属の保障まで

マッチング促進実習
SBコンサルティング支援

企業

NPO

行政

出口

地域が育つ事業連携

当事者

住民

起業家

事業者
(ネットワークサロン)

ネットワークづくり
広報啓発

研究サポートチーム

釧路のPS事業の特徴

- **生活福祉事務所との連携**

自立支援プログラムの出口づくり、総合的、継続的なケースワークの地域分業化・支援のあり方検討

- **機能の異なる3事業の連動実践による効果**

相談支援、インターンシップ、起業支援、地域づくり(ニーズ発掘)の連動的な展開

- **多彩な出口の創造**

居場所拠点・ソーシャルスキルトレーニング機会提供から、中間的就労、就労訓練、就労など個別ニーズに応じた多彩な出口(ステージ)を整備し、行き来できるシステムづくり。

- **ユニバーサルで敷居の低い入口**

対象を特化せず、地域全体の雇用対策、セーフティネット機能整備

- **ネットワーク型地域運営**

地域のあらゆるセクターによる複層的(企画・運営、事業連携、検証)な協働による実施で地域全体のスキルアップを図る